



2010年6月号  
発行所:野々上事務所  
高槻市氷室町4-1-5  
072-695-1313  
発行人: 本田昌子

# イクメンはイクメン?

男性の育児参加が進まない  
本当のわけは

厚生労働省が父親の子育て

参加を後押しすべく、「イクメンプロジェクト」を始めるそうです。子育て中の男性がイクメンプロジェクトのホームページに自らの育児体験を書き込み、その中から毎月「イクメンの星」が選ばれるとのこと。

子育てに熱心な父親のこと  
指す「イクメン(育児する、メン(男性))」とは最近のはや

り言葉で、赤ちゃん用品  
売り場には父親向けのシッ  
クなデザインのベビーカー  
や抱っこ紐などのイクメングッ  
ズも並ぶようになって来てい  
ます。

世の中の父親が育児にあて  
る時間が増えてきているので  
でしょうか?高槻市でも、この  
6月議会で市の男性職員の育  
児休業取得を後押しすべく、  
育児条例改正の審議がなさ  
れました。公務員現場と言っ  
てもありますが、市役所の  
女性職員の育児取得率はほぼ  
100%。ところが男性職員  
ではわずか1%台に留まって

国や地方自治体が男性の育  
児を応援する制度改正やキャ  
ンペーンを積極的に行うこと  
はとてもいいと思います。し  
かし、育児に参加したいとい  
う父親たちの願いを許さない  
社会の状況を変えていくこと  
こそが、まずは取り組んでい  
かななくてはならない事ではな  
いでしょうか。厚生労働省が  
やるべきことは諸外国と比べて



## 活動報告会

◇日時:7月24日(土)  
午後5時30分  
～7時30分  
◇場所:高槻市  
総合市民交流センター  
4階・第4会議室  
(JR高槻駅・南側すぐ)  
今回は、氷室町の事務所  
を飛び出して、活動報告を  
させていただきます。  
真夏の夕方です、お揃いで  
お越しください。

## オープンオフィス

ご自由にお越しください  
◇日時:7月17日(土)&  
8月19日(土)  
午前11時～午後4時  
◇場所:高槻市  
氷室町4-1-5  
のうえ愛 事務所  
お茶を飲みながら、気楽  
な一時をお過ごしください

## 6月15日!

南平台・おおにしやし

朝、新聞を見て あ!と思う。  
今日は6月15日だ!あれから50  
年半世紀。胸に熱いものが込み  
上げてきました。

樺美智子さんが生きていれば  
72歳にならているのかと想った  
時、当時の情景が鮮明に蘇って  
きました。

「日米安保条約」を  
阻止するべく国会に突  
入した学生デモ隊と  
警察隊との衝突の犠  
牲になりました。22歳  
でした。



当日のデモ隊には現  
衆参両院の議長であ  
る横路・江田両氏も参加をして  
おり自民党の加藤氏も東大学生  
として参加をしていたと聞くにつ  
け50年の時の流れを感じざるを  
得ません。

当時「安保反対」の声は全国す  
みずみまで行き渡り、連日、国  
会に向けての反対行動を展開す  
るべく各地から大変な数の人々

も異常に長い日本人の労働時  
間を規制することです。働く  
パママを会社に縛り付けるの  
ではなく、地域と家庭に帰す

が国会に集結をしていました。基  
地闘争、警職法の戦いの過程を  
得たエネルギーは東には安保、西  
には三池としてその闘いは総資  
本と総労働の闘いとして闘われ  
ました。それは日本と言う国の  
転換期に於ける進路選択の闘い  
でもあったのでしよう。6月23日  
安倍元首相の祖父岸内閣は強行  
採決で条約を通過させますが内  
閣は総辞職に追い込まれます。

これ以降、日本は米  
国との関係を抜きに何事  
の方針も決めることが出来  
なく、その最大の犠牲者  
は沖繩の人々です。半世  
紀に渡る出来事の積み  
重ねは物凄く重たく、ど  
ろどろしたものです。誰  
もが批判をするけども確たる方  
針を出せていません。言葉ではな  
いのです。

50年前の6月15日死を持って阻  
止の行動に参加した一人の女子  
学生に対して、生きて今日まで  
きた自分は彼女の思いにどう答  
えてきたのか考え、思い悩む6月  
15日でした。  
(了)

ことこそが一見遠回りに見え  
て、父親の育児参加への近道  
と私は考えます。

野々上 愛

### 日米同盟について考える 上土室 大野 政彦

沖縄の基地問題はご存知のとおり、5月28日福島大臣の罷免、社民党の政権与党からの離脱、「辺野古代替案の日米合意だけ残し」6月2日には鳩山首相の突然の退陣となり、「最低でも国外・県外」という沖縄県民の悲願は、地元との合意がとれないまま振り出しに戻った。

### 政治とジェンダー 大学教員 イダヒロユキ

#### 連載第二九回

#### 『ジェンダーに鈍感な民主党政権』

民主党政権で、福島・社民党が首が入っていたとき、ジェンダー平等を進めていく可能性が大きかったのですが、社民党が連立から離脱するわ、男女共同参画大臣のことなど菅新内閣の組閣ではまったく無視されるわで、だめですね。玄葉大臣は、公務員制度改革、内閣府特命担当で、そこに少子化対策もつけられ、最後に男女共同参画も任されまし



た(ほとんど報道さえなし)。民主党政権が始まったとき、いろいろ期待されましたが、子ども手当など少しの進展はあったものの、いまのところ抵抗が大きくて配偶者控除の廃止も夫婦別姓も停滞のままです。改革ペースが遅すぎます。社民主義システムに変えるという大きな方向性がわかっていないために迷走しています。

鳩山政権でも、菅政権でも副大臣と政務官の人事で、辻元さん以外に女性副大臣はいなかったし、今はゼロ。政務官には女性が3人だけです。千葉法務大臣の就任会見で、男女共同参画関連では話すことは「なし」でした。蓮舫大臣(行政刷新)は、ジェンダー平等には無関心のように

政権が国防総省・国務省・駐日大使を変えたのと同様のことは最低限行うべきだった。日米安保50年という節目の年、もう一度アメリカという国との付き合い方を再考する時期が来ているのではないかと。アメリカとは歴史的に60年代の繊維、70年代の電器、80年代の自動車という大きな貿易摩擦があった頃は、100人を越える国会議員が訪日していた。そればかりか

玄葉大臣は、就任会見で、「男女共同参画も、少子化も、つきつめれば意識改革の問題。そういう意味では、男性からも意識改革をしていきたい。少子化対策は、バランスの取れた子育て支援策。その意味は、現金給付だけでなく、現物給付、サービスも。」といった。「突き詰めれば意識の問題」と言うのは間違いです。わかっている人担当にあってたと言う事です。保育所持機児童解消など、本当に実効性あることをさせていかないとだめですね。

なお、児童扶養手当が父子家庭にも拡大されましたし、育児が男性もとりやすくなりまします。実務面では、少し前進しています。(次号へ)

なぜこういう結果になったのか。アメリカと外務省・防衛省の官僚の厚い壁だった。日米安保については外務省がほとんどの場面で実態を握っており、その北米局は「日米同盟の管理人」として一週間に数回在日米軍司令部関係者との会合を開くほど親密な関係にある。すべてが官僚任せになっていたということである。

政権交代を果たした連立政権に何が足りなかったのか。オバマ

### 「男のおさんどん」

#### 「あゆの塩焼き」

- レンガ3コをアルミ箔で包んでおく。コンロに魚焼きアミを置いて向側2コ手前に1コレンガを置く。  
(表焼く)
- あゆは30cmぐらいの竹グシを口から刺して中骨をすくうようにして串ぎしにする。各ヒレに化粧塩をして全体に薄塩をする。
- 魚の表(頭左・腹手前)から焼いて、焼目が付いたら向う便りのレンガを1コ減らして裏も焼く。  
(裏焼く)

強火の遠火でシッポもこげずにきれいに焼けます。

**立場が人を変える!!!**  
私は、小さいもの、弱いもののそばで、  
もっとよりぞっていたい!

## 春野サクラ

氷室町・高1黒桜

財界同士、在米邦人の努力、留学生もアジアで最も多かった。現在は中国、韓国にもそういう交流の面では抜かれている。改めて官僚任せではないアメリカとの交流を重層的・多面的に作り変えていく努力こそが今求められているのではないだろうか。グリーンニューデールを掲げるオバマ政権にとって、日本の太陽光発電・リチウム電池・新幹線をはじめとした交

### 「のの愛新聞」原稿募集

近所の出来事や日頃お感じになった事など、事務所までお寄せください。

通シシステムの技術こそアメリカが喉から手が出るほど欲しい物ではないだろうか。(了)

---

### 秋のバスツアー(予約受付中)

ののうえ愛、活動報告会の一環として楽しい催しを企画しました。秋の予定に是非織り込んで下さい。

- ◆日時:10月31日(日)8時~18時頃
- ◆行先:奈良県橿原市・明日香村方面(藤原京跡・飛鳥寺・大和三山など)
- ◆費用:4000円程度(昼食・車内飲料付)
- ◆お申込み、お問合せなど  
電話/FAX:072-695-1313

先日、大阪市東淀川区西淡路にある、高射砲台跡を訪ねました。阪急淡路駅より、北側の商店街を抜けると、淡路小学校があり、その東隣に高射砲台跡がありました。その周辺は住宅街であり、マンションに周りを囲まれていて、よく分らなかつたのですが、北側の道路へ廻ると、公園や花畑になつていて、2基のコンクリートの砲台跡を見つけました。向かつて右側の砲台跡には人の住んでいる気配が無く、屋根が直径10mぐらいで、お椀形の建物でした。左側の砲台跡には住民が住んでいて、屋根へ上る梯子が取付けてありました。この台座の上に、どれくらいの長さの砲身が取付けてあったのかと思ひました。以前この近くに住む知人のお年寄りが、大阪空襲の話をして「B29のはるか下で砲弾が炸裂して、あたれしませんでしたねん」と言つて、笑つていたのを思い出しました。この高射砲で近くの柴島浄水場や延原兵器工場を守つていたそうです。その延原兵器工場跡へも足を伸ばしました。東へ500mほど行くと、神崎川に架かる橋があり、新幹線と城東

貨物線との交差点があり、現在、延原倉庫と云う会社になつていて、トラックが出入りしてました。何か記念碑などがあればいいのにと思ひました。

(了)